

Ⅱ． 地方自治体の取組

6． 他自治体との連携

川崎市の取組

【川崎市の取組】Ⅱ. 地方自治体の取組

1. 首長の方針

○「令和4年度 施政方針」から抜粋

新たな産業を創出する取組として、研究開発基盤の強化につきましては、「新川崎・創造のもり」において、新たな技術や産業の創出促進、ベンチャー企業等の成長支援とともに、量子コンピューティングシステムと連携した取組を推進してまいります。

キングスカイフロントにおきましては、エリアの研究成果を新事業創出等につなげるため、研究・事業活動の活性化支援や市内産業への波及、研究成果を早期に社会実装させるインキュベーション機能の強化に向けた取組を実施してまいります。

また、「ナノ医療イノベーションセンター（iCONM）」について、引き続き革新的な研究成果の早期実用化を目指す研究所として安定的に活動できるよう、支援を継続してまいります。

2. スタートアップ支援

（1）総予算額

単位：千円

2020	2021	2022
447,562	408,774	480,577

（2）主な支援事業

単位：千円

事業名	2022予算
起業家支援拠点「Kawasaki-NEDO Innovation Center（K-NIC）」運営事業	54,755
研究開発型ベンチャー企業成長支援事業（アクセラレーションプログラム）	13,647
新川崎・創造のもり運営事業	106,631
クラスターマネジメント推進事業	122,000
ナノ医療イノベーションセンター研究促進事業	130,000

3. スタートアップ支援組織

組織（人数）	顔職員（年数）
経済労働局イノベーション推進部（18）	田邊聡（25）
臨海部国際戦略本部成長戦略推進部（12）	嶋村敏孝（15）

4. 民間組織との連携

○LINK-J（一般社団法人ライフサイエンス・ネットワーク・ジャパン）とライフサイエンス領域におけるオープンイノベーション促進に向けた相互連携に関する覚書を締結

○ドイツ・ミュンヘンのバイオクラスターマネジメント組織BioMと健康・医療分野を中心とした経済交流に関する覚書を締結

○株式会社ケイエスピーはキングスカイフロントのライフイノベーションセンター（LIC）内のインキュベーション拠点「KSP Biotech Lab」において、独自のベンチャー支援システムを活用して再生・細胞医療分野における入居企業を支援

○本市は市内立地のNEDOと市町村唯一の連携協定を締結。起業家支援拠点K-NICを本市及びNEDO、川崎市産業振興財団の3者で共同運営。運営においては研究開発系の起業経験や公的資金獲得に知見のある支援人材による運営体制を取ると共に、金融機関や起業支援機関の人材が起業相談を行っている。起業・創業関係のイベントとして、支援機関や金融機関等が主催する事業も実施

○富士通、東芝等の40社の大企業と、中小企業、ベンチャー企業と知的財産交流事業のネットワークの構築及び連携の実施

○横浜銀行と起業・創業の促進やベンチャー企業の支援等、産業振興に関する連携協定の締結

○研究開発型ベンチャー企業成長支援事業「Kawasaki Deep Tech Accelerator」を、本市において30年に亘り、インキュベーターとしてベンチャー企業の創出、育成に実績をもつ株式会社ケイエスピーと連携して実施

○LINK-Jとの連携により、LINK-Jコミュニケーションラウンジ川崎キングスカイフロントを設置

○川崎市産業振興財団が米国のインキュベーターであるBioLabs社と協定を締結し、ナノ医療イノベーションセンター（iCONM）におけるインキュベーション事業で連携

5. グローバル化への対応

○神奈川県が「かながわスタートアップ・ビザ」制度を制定

○BioLabs社を通じ、スタートアップを海外市場に接続

6. 他¹の自治体等との連携（都道府県と市区町村の連携、連携都市など）

- 神奈川県（総合特区、国家戦略特区）

○横浜市（総合特区、国家戦略特区）

○大田区（特定都市再生緊急整備地域）
- 知的財産交流事業において、郡山市、富士宮市、益田市等、30を超える全国の自治体とのネットワークを有している。

7. 国²の施策との連携（特区、地方創生交付金事業など）

・ 京浜臨海部ライフノベーション国際戦略総合特区	・ 国家戦略特区（東京圏）	・ 特定都市再生緊急整備地域
・ Greater Tokyo Innovation Ecosystem	・ 共創の場形成支援プログラム(COI-NEXT)（慶應義塾大）	・ 共創の場形成支援プログラム(COI-NEXT)（広島大）
・ グローバルバイオコミュニティ（Greater Tokyo Biocommunity）		
・ 地方創生推進交付金を活用し、起業家支援拠点 K－N I C の運営、アクセラレーションプログラム、起業家オーディション等のスタートアップ支援事業を実施		
・ 地方創生拠点整備交付金を活用し、殿町国際戦略拠点において研究者や企業間等の交流・連携を促進するため、マネジメントセンターを整備		

8. スタートアップ調達（トライアル発注制度など）

平成28年4月に施行された「川崎市中小企業活性化のための成長戦略に関する条例」の趣旨に基づき、市内中小企業者への優先発注を実施

【川崎市の取組】Ⅲ. 民間組織の取組

1. 地域で活動するVC、アクセラレーターの取組

- 株式会社ケイエスピー

日本初の都市型サイエンスパーク「かながわサイエンスパーク」の中核組織として設立され、日本のビジネスインキュベータの先駆けとして約30年の実績を有し、300社を超えるスタートアップ企業の創出・成長・IPOに関与
- 株式会社ファストトラックイニシアティブ

川崎市産業振興財団ナノ医療イノベーションセンターで展開されるCOINSプロジェクト発のバイオベンチャーである（株）ブレイゾンセラピューティクス 等への投資を実施
- バイオ・サイト・キャピタル株式会社

キングスカイフロントのバイオベンチャー向けラボ「川崎生命科学・環境研究センター」4Fの入居企業へのサポート等総合的インキュベーションを行うとともに、「新川崎・創造のもり」のインキュベーション施設の運営を担う。

2. スタートアップを支援する地域の大企業・中堅企業の取組

- 株式会社横浜銀行

2019年11月、慶應義塾大学、川崎市産業振興財団との3者で川崎市域における産業振興を目的とした覚書を締結

「助成金事業」による大学機関等の研究開発者及び研究開発型ベンチャー企業への資金的支援や、起業希望者の事業化を支援するセミナー（座談会）等の開催を予定

3. エコシステムにおけるキーパーソン・インフルエンサーの取組

- 窪田 規一 株式会社ケイエスピー 代表取締役 K－N I C アドバイザリーボードメンバー

○栗田 秀臣 株式会社ケイエスピー インキュベート・投資事業部 担当部長 J-startup推薦委員

○鮫島 正洋 弁護士法人内田・鮫島法律事務所 J-startup推薦委員 K B I C 及び K－N I C アドバイザリーボードメンバー、川崎市知財戦略策定委員

○國本 行彦 株式会社Kips代表取締役 J-startup推薦委員、K B I C 及び K－N I C アドバイザリーボードメンバー

○尾崎 典明 公益財団法人川崎市産業振興財団（K-NICスタートアップ育成担当）

【川崎市の取組】Ⅳ. 大学の取組

1. 地域における大学のスタートアップ創出・支援の取組

○慶應義塾大学

2000年に新川崎に研究重点型のタウンキャンパスを設置、複数の慶應義塾大学発ベンチャーを創出し、大学発ベンチャーを表彰する2018「アーリーエッジ賞」を受賞するなど成長著しいスタートアップが立地している。

○明治大学

市内に理工学部、農学部、大学院からなる生田キャンパスを有し、インキュベーション施設や、3Dプリンタ等を備える地域産学連携研究センターを設置している。

○専修大学

市内に生田キャンパスを有し、2002年からベンチャービジネスコンテストを実施している。第21回ベンチャー学会全国大会は専修大学生田キャンパスにおいて実施された。2019年に0→1の新しいビジネスを生み出すことを目的としたビジネスデザイン学科を新設。

2. 地域の大学における起業家教育の取組

○慶應義塾大学殿町タウンキャンパスにおける取組

・ジュニアドクター育成塾 KEIO WIZARD：社会にあるニーズに目を向け、科学の力で応えるパスツール型の発想や行動ができるジュニアドクターの育成

○神奈川県立保健福祉大学大学院（ヘルスイノベーションスクール）

健康・医療分野において社会システムや技術の革新を起こすことができる人材の育成を目指した全く新しい教育研究機関。次世代のヘルスケア・医療のイノベーターを育成

3. 大学と地方自治体、民間のスタートアップ創出・支援に関する連携

・慶大・早大・東工大・東大の4大学との基本合意

新川崎において、ナノ・マイクロの研究最先端の新技术開発や新製品・新産業の創出をめざす企業等との連携を推進、技術支援を実施する 等

・慶應義塾大学との連携協定

新川崎タウンキャンパスでの研究の推進やオープンセミナーの開催、キングスカイフロントのポテンシャルを生かし、殿町タウンキャンパスにおける研究・教育活動を通じたイノベーションの創出及び新産業創造の推進に関する事 等

・東京工業大学との協定

相互の持つ資源やネットワークを活かして、地域発のイノベーション創出の推進や多分野での連携・協力に関する事 等

・慶應義塾大学、川崎市産業振興財団、横浜銀行の3者で川崎市域における産業振興を目的とした覚書締結

市内に集積する大学や研究機関などの技術・研究シーズを発掘し、3者共同で事業化・社会実装に向けた支援を行う。慶應義塾大学イノベーション推進本部と連携し、学内の研究シーズやベンチャーアイデアの集積を積極的に進める予定

・東京工業大学

地域イノベーション・エコシステム形成プログラムにおいて、革新的なIT創薬技術と人工核酸設計技術の融合による中分子創薬ベンチャーを1社創出した。また、川崎市及び川崎市産業振興財団との連携により、川崎市内企業等との産学官連携による基礎・基盤研究と創薬事業を橋渡しするイノベーション・エコシステムの形成を推進

・東京大学、東京医科歯科大学、東京医科大学、東京工業大学、東京理科大学、東京女子医科大学（COINS）

革新的イノベーション創出プログラム（COI）において、川崎市産業振興財団ナノ医療イノベーションセンターにおいて、体内病院の実現に向け革新的なイノベーションを産学連携で創出することを推進。研究成果・基盤技術をもとに9社のベンチャーの立ち上げに成功

・東京大学・早稲田大学・東京工業大学等（Greater Tokyo Innovation Ecosystem: GTIE）

13の大学・スタートアップ支援機関から構成される共同機関と、大学や自治体等が協力機関として参画し、グローバルで戦える大学発スタートアップを育成・創出

【川崎市の取組】Ⅴ. 都市の環境・繋がり状況

1. 都市の集積・環境の概要（グローバルな人材を惹きつける環境）

ライフサイエンス分野の研究開発拠点「殿町キングスカイフロント」には、グローバル企業やベンチャー、複数の大学、評価・支援機関が集積し厚みのあるクラスターが形成されている。また、日本橋LINK-JやドイツBioM、米国BioLabsとも連携し、ビジネスネットワークをグローバルに展開している。このキングスカイフロントや「新川崎・創造のもり」地区をはじめとするエリアに約550の研究開発機関が集積している。また、かながわサイエンスパーク、かわさき新産業創造センター（KBIC）などのサイエンスパークやインキュベーション施設が、先端技術の開発や起業家の活動を支援している。

川崎市における学術・開発研究機関の従業者構成比は、日本の大都市の中でトップクラスであり、有望な起業家やベンチャー企業が生まれる潜在性が高まっている。これらの下地を活かし、力強い産業都市として持続的な経済成長を図るため、新たなビジネスやイノベーションを創出する起業家を次々に生み出すエコシステムを形成してゆく。

（観光、エンタメ、住環境など）

- ・ 羽田空港近接：殿町キングスカイフロントは、多摩川を挟んで羽田空港の対岸に位置し、国内外へスピーディなアクセスが可能。2022年3月に多摩川スカイブリッジが完成し、羽田空港と直結したことにより一層アクセスが向上
- ・ た、ミュージア川崎：NEDO本部及び起業家支援拠点K-NICが所在。シンフォニーホールでは東京交響楽団が本拠地として活用
- ・ 川崎駅周辺：三井不動産系列のリージョナル型ショッピングセンターでは売上1位であるラゾーナ川崎プラザなどの大型商業施設や商店街などの商業施設が整っており、川崎駅西口エリアにはJR東日本が訪日外国人をターゲットとしたホテルや、大型複合商業施設を開業
- ・ 川崎大師（平間寺）：真言宗智山派の大本山で、もろもろの災厄を消除する霊験あらたかな厄除大師として有名。7月の川崎大師風鈴市では、全国から数多くの風鈴が集まり、涼やかな音を楽しませてくれる。

2. スタートアップ支援の中心となる施設・場（公的施設・民間施設）

- ・ ナノ医療イノベーションセンター【iCONM】（川崎区）
- ・ iCONM in collaboration with BioLabs（川崎区）
- ・ ライフイノベーションセンター【LIC】（川崎区）
- ・ Kawasaki-NEDO Innovation Center【K-NIC】（幸区）
- ・ かわさき新産業創造センター【KBIC】（幸区）
- ・ かながわサイエンスパーク【KSP】（高津区）
- ・ テクノハブイノベーション川崎【THINK】（川崎区）
- ・ 明治大学地域産学連携研究センター（多摩区）

3. スタートアップや支援者の交流する場（シェアオフィス、カフェなど）

- ・ 川崎市キングスカイフロントマネジメントセンター（川崎市川崎区殿町3-25-10）
- ・ LINK-Jコミュニケーションラウンジ川崎キングスカイフロント（川崎市川崎区殿町3-25-10）
- ・ 川崎キングスカイフロント東急REIホテル（川崎市川崎区殿町3-25-11）
- ・ K-NIC（川崎市幸区大宮町1310番 ミューザ川崎セントラルタワー5階）
- ・ 産学交流・研究開発施設【AIRBIC】（川崎市幸区新川崎7-7）

4. スタートアップ関連イベントの開催状況

イベント名	場所	主催者	参加人数
Tonomachi café	LINK-Jコミュニケーションラウンジ川崎キングスカイフロント等	川崎市産業振興財団	各回20～30名
かわさき起業家オーディション	K-NIC	川崎市産業振興財団	2,343名 （第130回開催までの応募者数）
かわさき起業家塾	K-NIC	川崎市産業振興財団	各回10～20名
NEDOピッチ	K-NIC	NEDO	各回80～90名
K-NICピッチ	K-NIC	川崎市	各回30～40名
K-NICリバーズピッチ	K-NIC	川崎市	各回70～80名
KBICセミナー	KBIC	かわさき新産業創造センター指定管理者	各回約100名